

1. 単元のねらい

- 「雪」や「寒さ」について調べたり、考えたりする活動を通して、雪国札幌に住んでいることを誇りに感じ、明るく前向きに生活をしていくための工夫ができるようにする。
- 「雪国札幌の良さ」を進んでいろいろな人たちへ伝えようとする。

2. 単元の評価規準

- ・自分の願いにあった課題を見つけ、その解決に向けた方法を考え、適切な情報を収集・活用しながら、友達と力を合わせて解決しようとする。(関心意欲・思考判断)
- ・学習したことを相手に理解してもらえるように、わかりやすく効果的に表現することができる。(技能)
- ・学習を振り返り、自分の学びの良さや生き方を見直すことができる。(思考判断)

3. 単元計画 (総合的な学習の時間 25時間)

月	小単元名・ねらい	学 習 活 動	評価の観点・留意点等
	オリエンテーション (1)	○自分たちの「雪」や「札幌」のイメージを交流する。 保護者のアンケートの結果 (冬を好きでない人が多い) から、子どもと大人の雪に対する感じ方や冬の生活への意識の違いを知り、大人に対してもっと「雪国札幌の良さ」を伝えたいという気持ちにさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">雪国札幌の良さをみんなの力で伝えよう！</div>	◆保護者へ児童にした質問と同じ内容のアンケートをお願いしておく。 ○学習への意欲を高めることができたか。
1	雪国札幌についての基本データを身につけよう (6) [学年一斉] ・雪国ならではの札幌の良さを知り、一方で、生活への影響もあることを理解することができる。	○札幌についての「基本データ」(人口、地形、気候、降雪量など)を調べる。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">人口が 190万</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">市の面積 60%が森</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">冷涼で快 適な気候</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">年間降雪 量6m</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">日本一魅力的な都市に選ばれた 札幌</div> ○「雪の結晶」を観察する。結晶のでき方や種類を調べる。 *雪の降っている日に実施する。 ○日本で最初の「冬季オリンピック」が札幌で行われた理由を考える。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">降雪量 が多い</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">便利な 都市</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">スキー場 が近い</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">競技が 盛ん</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">世界でも有名なウィンタースポーツのまち サッポロ</div> ○プロスキーヤーの△△さんから、スキーの魅力や世界から見た札幌について話を聴く。 ○札幌市の除雪の仕組みや大変さを調べる。	◆教師が作成した「札幌力テスト」をする。 ◆HP『Web シティさっぽろ』などを活用する。 http://web.city.sapporo.jp/ ◆雪プロ制作のワークシート『雪の結晶』を使う。 ◆HP『雪たんけん館』を活用する。 http://yukipro.sap.hokkyodai.ac.jp/ ○札幌市の特徴や雪の結晶の仕組みがわかったか。 ○一市民として雪への問題意識をもつことができたか。 ◆『雪たんけん館』の利用

2	<p>『好きです札幌PR隊』の活動に取り組む(12) 〔グループ別〕</p> <p>・雪国札幌の良さを自分たちの力で発見したり、改善したい問題について、解決へ向けた取組をしたりすることができる。</p>	<p>○これまで学習してきたことをベースにして、ここからは、自分たちがもっと雪国札幌の良さを発見したり、大変さを改善したりする活動に取り組むことを確認し、『好きです札幌PR隊』を組織する。</p> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> どんな課題（テーマ）に取り組むか考えよう </div> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; padding: 5px;">スキーの楽しみ方を考える</td> <td style="width: 25%; padding: 5px;">新しい雪の遊びを開発する</td> <td style="width: 25%; padding: 5px;">雪かきの苦労を和らげる</td> <td style="width: 25%; padding: 5px;">雪を使った食べ物を考える</td> </tr> </table> <p>○グループ（隊）ごとに学習計画を立てる。 〔ゴールとして、3月の参観日や札幌市主催の「雪と暮らすおはなし発表会」が考えられる〕</p> <p>○グループ同士の計画を交流し、互いの良さに気づき、自分たちの計画を見直す。</p> <p>○グループ（隊）での調査活動や体験活動に取り組む。</p> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; padding: 5px;">今日の活動内容や分担を確認する</td> <td style="width: 33%; padding: 5px;">活動や実験をして、結果や成果を分析する</td> <td style="width: 33%; padding: 5px;">活動を反省し、次の計画を立てる</td> </tr> </table> <p style="margin-top: 5px;">*何回か、このパターンを繰り返す</p> </div> <p>○グループ（隊）の活動の「中間交流会」をする。 お互いのグループのがんばっているところを伝えたり、課題についてアドバイスしたりする。</p> <p>○再度、グループ（隊）での調査活動や体験活動に取り組む。</p>	スキーの楽しみ方を考える	新しい雪の遊びを開発する	雪かきの苦労を和らげる	雪を使った食べ物を考える	今日の活動内容や分担を確認する	活動や実験をして、結果や成果を分析する	活動を反省し、次の計画を立てる	<p>◆既習を発展させ、子どもなりの課題（テーマ）を設定し、より良い札幌にするための手立てを考え、実行することが大事だと考える。</p> <p>◆教科の発展的なテーマを含めて、子どもたちが主体的に取り組める課題を設定し、グループを組織したい。</p> <p>◆そのテーマを設定した理由を明文化させることが大切であり、今後の活動の度にそれについて評価するようにしたい。</p> <p>◆毎回の活動を始める前に、グループごとに活動の目的や手順を明確にさせてから取りこませるようにする。</p> <p>◆失敗体験を大事にしたい。「なぜそうなったのか、次はどうしたらよいか」ということを考え合うことが大切であると考える。</p> <p>○雪国札幌の良さや改善したい問題について、自分たちの力で発見したり、解決したりすることができたか。</p>
スキーの楽しみ方を考える	新しい雪の遊びを開発する	雪かきの苦労を和らげる	雪を使った食べ物を考える							
今日の活動内容や分担を確認する	活動や実験をして、結果や成果を分析する	活動を反省し、次の計画を立てる								
3	<p>プレゼンを作ろう(4)</p> <p>・これまでの学習をまとめたプレゼンテーションを作ることができる。</p>	<p>○プレゼンの仕方（構成）について理解し、発表の流れや方法を考える。</p> <p>○リハーサルを繰り返しながら、プレゼンの内容と方法について改善し、より良い発表をめざす。</p>	<p>◆プレゼンソフト（パワーポイント）を使うことが原則だが、子どもらしい表現方法の工夫も期待したい。</p> <p>○主張が明確で、表現方法を工夫したプレゼン作りに友達と協力して取り組むことができたか。</p>							
	<p>プレゼンを発表しよう(2)</p> <p>・一人一人が役割をもって、堂々と発表することができる。</p>	<p>○一人一人が役割をもって、堂々と発表する。 前半と後半で、グループにより発表する側と聴く側に分かれ、感想カードを記入する。</p> <p>○「雪国札幌に生きる自分」という題で、この学習を通して学んだことを作文にする。</p>	<p>○友達と協力し、説得力のある発表をすることができたか。また、他のグループの発表を自分たちとの違いに気づきながら聞くことができたか。</p>							

4. 本時の展開例 (11/25)

〈本時のねらい〉

- ・互いのグループ（隊）の計画を見合い、交流することで、それぞれの良さや具体的な方法に気づき、自分たちのグループの計画を見直すことができる。

〈本時の評価〉

- ・他のグループの計画を見て、良いところや改善が必要だと思うことを見つけることができたか。また、友達のアドバイスを受けて、自分たちの計画を見直し、改善することができたか。

〈本時の展開〉

子 ども の 活 動	留 意 点
<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>これまでの学習を通して、子どもたちは雪国札幌の良さや大変さがあることを知った。また、寒さなどを理由に冬に対するマイナスのイメージをもっている大人が少なくないことも知ることになった。そして、そんな大人に対し、「雪国札幌の良さ」を伝えたいと考えている。そこで、自分たち自身でさらに雪国札幌の良さを発見したり、雪の大変さを改善したりする取組み（作戦）を考え、前時に計画表を書いている。</p> </div> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>お互いの計画（作戦）を見合って、それぞれの良さを見つけたり、改善した方がいいと思ったりしたことにはアドバイスをしよう！</p> </div> <p>○ 各グループの「計画表」を見て回りながら、付箋紙を貼っていく。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: 30%;"> <p>・調べる手順がわかりやすく、計画してあるのがいいね。 ・活動に必要な物をどのように準備するのかな？</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: 30%;"> <p>・計画を考えた理由がはっきり書いてあっていいね。 ・実際に可能な活動なのかな？安全面は大丈夫なのかな？考えることも大事だよ。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div> <p>○ グループごとに付箋紙を分類して、自分たちの計画を見直す相談をする。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>計画を立てる時には、具体的な方法や必要な物、実際にどんな活動をするのかを考えるのが大切だね。 次は、いよいよ計画（作戦）を行動に移していこう！</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・付箋紙を貼るルール ピンク：良いところ 見つけカード 青：アドバイスカード どの計画書にも必ず1枚は貼られるように考えて見て回ること。 [参考図書] 「わたしたちとじょうほう」 ～3・4年生版～（学研） ・付箋紙を読み、全体で確認したいことや見本となる気づきがあれば紹介する。 ・自分の今日の取組を振り返り、自己評価シートに記入させる。